

科目名称：	デジタル映像演習	
担当者名：	廣瀬 元	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
ビデオやムービーなどの動画メディアをデジタル技術で撮影、編集、公開する表現手法について、受講者が各自で数分のビデオ作品を完成させる過程を通して、実践的に学ぶことを目的とする。本演習では、常にアップデートされる撮影機器、動画編集ソフトについて学び、自ら撮影、編集し制作する実践を通して、ビジネス諸活動において有用な「人の印象に残るモノづくりの姿勢と方法」を身に付けることを目的とする。		
授業の達成目標・到達目標		
撮影機器、動画編集ソフトを用いて自ら撮影、編集し制作することができる。また、それらの作品を必要に応じた形で発信することができる。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP (2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP (3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)			80	20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容 1》	《経験年数 1》
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
映像と音楽編集に主体的に取り組もうとしている (関心・意欲・態度)	主体的な取り組みで授業時間を常に有効に使用している	概ね主体的な取り組みで授業時間を有効に使用している	主体的な取り組みで授業時間を有効に使用している姿勢が見られる場面と見られない場面がある	主体的な取り組みで授業時間を有効に使用している姿がほとんど見られない
他の受講生の作品発表や、グループでの撮影・編集作業の際に、他の受講生の良い部分や工夫を指摘し、自分の作品づくりに活かしている (思考・判断)	他の受講生の良い部分や工夫などを、複数の具体例をあげて指摘し、自分の作品づくりにおいてそれを活かしている	他の受講生の良い部分や工夫を一つは指摘し、自分の作品づくりに活かしている	他の受講生の良い部分や工夫などを指摘しているが具体性に欠け、またそれを参考にしようとしているが、うまく活かせていない	他の受講生の良い部分や工夫などに指摘がほとんどなく、それを参考にすることもほとんどない
動画、静止画、音声素材のノンリニア編集技能 (技能・知識)	動画、静止画、音声素材の全ての素材を自分の思い通りに編集ができる	動画、静止画、音声素材の全ての素材の編集が概ねできる	動画、静止画、音声素材の編集について、できる部分とできない部分がある	動画、静止画、音声素材の編集がほとんどできない
映像制作手順 (構想・絵コンテ作成・撮影・編集・発信) の理解実践 (技能・知識)	映像制作手順についてよく理解しており、全ての工程を自分の力で行うことができる	映像制作手順について概ね理解しており、工程を自分の力で概ね行うことができる	映像制作手順について理解している部分とそうでない部分があり、工程を部分によっては行うことができる	映像制作手順についてほとんど理解しておらず、工程を自分の力で行うことはほとんどできない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その1 インターフェイスの理解、素材取込み、配置	本シラバスを精読すること	10分
第2回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その2 映像のトリミング、複数映像の繋ぎ加工等	Premiereのインターフェイスについて理解を深め、課題ファイルを保存しておく	30分
第3回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その3 各種エフェクト効果等	映像のトリミング、複数映像の繋ぎ加工について理解を深める。授業内で出た課題を完成させておく。	30分
第4回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その4 演習1 ショートムービー作成1 (授業内でディスカッションをしながら演習する)	映像のトリミング、複数映像の繋ぎ加工について理解を深める。授業内で出た課題を完成させておく。	30分
第5回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その5 静止画像、エフェクトウィンドウの利用	ショートムービー課題を進め、ファイルサーバに保存しておく	30分
第6回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その6 演習2 ショートムービー作成2 (授業内でディスカッションをしながら演習する)	ショートムービー課題を完成させておく	30分
第7回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その7 テロップ、フィルター、キーの利用等	テロップ、フィルター、キーについて理解を深め、ファイルを保存しておく	30分
第8回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その8 DVカムの取り扱い方および、データ転送方法など	DVカムの取り扱い方および、データ転送方法について理解を深め、ファイルを保存しておく	30分
第9回 Premiereを用いた動画編集の基礎 その9 演習3 ショートムービー作成3 (授業内でディスカッションをしながら演習する)	ショートムービー課題を進めておく	30分
第10回 Davinci Resolveを用いた動画編集の基礎	ショートムービー課題を完成させておく	30分
第11回 映像公開・配布方法等	映像公開・配布方法について理解を深める	30分
第12回 音楽編集の基礎 音声の波形編集、マルチトラックでの楽曲編集等	音声の波形編集、マルチトラックでの楽曲編集について理解を深め、ファイルを保存しておく	30分
第13回 オリジナル映像作品 (最終課題) 制作 (授業内でディスカッションをしながら演習する)	制作を進め、ファイルサーバに保存しておく	30分
第14回 オリジナル映像作品 (最終課題) 制作のつづき (授業内でディスカッションをしながら演習する)	制作を進め、ファイルサーバに保存しておく	30分
第15回 完成作品発表・合評	課題を完成させておく	30分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、復習課題および制作したコンテンツをサーバーやPCにファイル保存してもらうことになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 課題評価 (演習および最終課題) 80%、授業中の演習状況20%		
課題に対してのフィードバック		
課題を評価し返却する。		
教科書・参考書		
プリント配付 主にAdobe Premireを利用して演習を行う。		